

陳 情 文 書 表

(保健福祉局)

受 理 番 号	9 3 4	受 理 年 月 日	令 和 5 年 9 月 28 日
件 名	洛西ニュータウンにおける総合病院の存続・充実		
要 旨	<p>現在、洛西ニュータウンは少子高齢化による人口減少、公共交通の不便さ、それに加え、医師の高齢化に伴う開業医の閉院、相次ぐスーパーの撤退、京都市立芸術大学の移転等、生活する上での困難が複合的に生じている。</p> <p>京都市は、洛西ニュータウンを施策の課題の一つとして、洛西“SAIKO”プロジェクトを設置した。こうした中で、私たちが洛西ニュータウン病院の婦人科閉科を契機に取り組んだアンケートでは、婦人科の充実・復活、整形外科の充実、総合病院を残してほしいなどの切実な医療要求、そして、子育てしやすいまちづくり、移動の権利である交通、地域に寄り添った商店街の充実など行政に対する幅広い要望が寄せられた。</p> <p>地域住民の命と健康を守るためには、洛西ニュータウンに総合病院が必要である。京都市が関西医科大学と協定を締結し、1982年に関西医科大学附属病院として開設した経過からも、京都市には責任がある。</p> <p>洛西ニュータウン病院は40年以上にわたり、洛西地域住民の命のとりどとして、洛西とその周辺地域にとってなくてはならない病院である。そして、その役割は防災対策としても今後ますます重要となってくる。</p> <p>ついては、地域住民の命と健康を守るために、洛西ニュータウンにおいて総合病院を存続・充実することを願う。</p>		
陳 情 者			
回 付 委 員 会	環 境 福 祉 委 員 会		